

あなたの被害者支援プログラムを開始する

ニーズのみきわめ

あなたは今や、MADD の被害者支援プログラムについてある程度の知識は持っており、新しい支部として、或いは、支部ないしコミュニティー活動チームが被害者支援を提供し始めるにあたって、一体どのようにあなたのプログラムを始めればよいのかと思っていることでしょう。

あなたの MADD 被害者支援プログラムを、あなたのコミュニティーにある他の被害者サービス・プロバイダーと調整することによって、分裂や公的な混乱、そして最も重大なことだが、被害者の被害化、すなわち、援助のために企画されたプログラムそのものによって被害者を混乱させてしまうようなことを、避けることができる。成功をおさめる被害者支援プログラムとは、協力とコミュニケーションおよび調整の精神で、他の被害者支援プログラムを見きわめ、計画し、相互リファーを行い、評価し、ともに活動しようとするものである。

あなたの支部が必要としている被害者支援プログラムの種類を決定するためには、あなたは、あなたのコミュニティーにおいて、既に犯罪被害者にサービスを提供しているプログラムを明確にし、位置づけなければならない。

法執行機関（警察署、保安官事務所 Sheriff's Department、ハイウェイ・パトロール）

検察官事務所

矯正施設（保護観察と仮釈放）

メンタルヘルス協会

病院ソーシャル・ワーカーと教戒師

ホットラインと、CONTACT プログラム

POMC（子供を殺害された親の会）、或いは Compassionate Friends のような、既に活動中のサポートグループ

地元の行政機関（市長執務室、郡委員会、社会福祉サービス部門）

その他の飲酒運転に反対するグループ

また、電話帳の、「カウンセラー」や「精神分析家」の欄を見て、犯罪被害者の対応の専門家として載っている人にコンタクトをとる。

地元のプログラムをすべて確認したら、個別に電話をして、飲酒運転衝突の被害者へのサービスを提供してくれるかどうかを尋ねる。回答が「イエス」の場合、彼らの活動をよりよく知るために、それらのプログラムのディレクターとの面会予定を決める。

あなたの面談の目的は、各プログラムが被害者のためにどのようなサービスを提供するかを確認し、相互リファー手続きを調整することである。あなたは、サービスの重複を避けたいと思うだろう。

- A. 危機介入は？ 時間は？
- B. グリーフ・カウンセリングは？ 誰によって？
- C. 被害者サポートグループは？ 殺人事件の遺族に対し、一般的か、或いは専門的か？ 深刻な傷害を受けた人には？
- D. 刑事司法の手続きについて、被害者に知らせているか？
- E. 被害者の権利について、被害者に知らせているか？
- F. 被害者の補償金について、被害者に知らせているか？用紙記入を援助するか？
- G. ケースの進展、告発、被告人の逮捕と釈放、正式起訴、大陪審、(裁判の)延期続行、公判前のヒアリング、有罪答弁取引について、被害者に知らせているか？
- H. 被害者の希望があれば、上記への被害者の関与の手配をしているか？
- I. 被害者の **Victim Impact Statement** と、損害賠償請求を、援助するか？
- J. 被害者や目撃者の証言を準備するか？
- K. 法廷への送迎を提供するか？
- L. 法廷手続きの間に、被害者の子供の世話を提供するか？
- M. 被害者とともに法廷に出席するか？
- N. 被害者のために、雇用者、債務者、資金問題に関係する社会機関との仲裁をするか？
- O. 被害者にアクセスする方法は？
 - 警察、或いは保安官事務所から
 - 警察、或いはパトロール報告から
 - 刑事司法、病院、或いは社会機関から？
 - セルフ・リファーは？
 - 他には？

現在ある他のプログラムについて知った上で、サービスの不備はどこにあるかを、そしてまた、既に利用可能なサービスと重複することなく、飲酒運転衝突の被害者に最良の支援をするために、あなたの時間、エネルギー、スキルをどのように用いていくかを、決める。

あなたの支部内で他の擁護者が、既にニーズのみきわめ **Need Assessment** を終えていたら、もう一度それをすべてやり直すよりも、単にその擁護者の成果を更新していくこと。

MADD の基本方針と手続き

1. 被害者は、被害にあった刑事事件が解決する時（一般には判決が下る時）より以前、あるいは被害に遭ってから1年以内には、支部の会長ないしスポークス・パーソンになることができない。
2. MADD は、飲酒運転衝突事件の被害者に対し、MADD 基金から、現金ないしその等価物、その他直接的な財政的支援を認可したり、支給したりすることはない。（財政的支援については、擁護者が援助して「州立犯罪被害者補償基金」や、食料切符、公益企業からの緊急クレジットなどを利用することが勧められる。これらが探された後では、支部は、教会や銀行などに、特定用途・一時支給のための募金運動の導管となるよう捜し求めることもできる。ただし、小切手はMADD 名義とはせず、導管組織への名義とすべきこと。
3. MADD 基金の、他の組織への寄付は許されない。
4. MADD の代理人は、裁判所ではその所属の表示物（MADD ボタンやその他特定するラベル）の着用を控えなければならない。
5. MADD 組織のいかなる部門も、有罪決定前には判事に手紙を書くことはない。ただし、ローカル・ルールで認める場合には、有罪決定の後判決の前までの間に、判事、検事、保護監察官らに手紙が送られることがある。
6. MADD メンバーは、犯罪者の法廷命令 Court Orders への応諾の決定に関わる立場に立つことはない。MADD メンバーは、法廷モニターの同意があれば、インパクト・パネル・プログラムの調整や、犯罪者のグループに対するスピーチなどを通じて司法プロセスに関わることができる。
7. 飲酒運転インパクト・パネルとは、被害者と犯罪者、救急医療技術者、およびまたは聴衆として適当と見なされる人を含み、パネルの多数は被害者によって占められる。
8. 犯罪者は、彼/彼女のケースの司法判断が下され、そして彼/彼女のケースの判決のあらゆる面を完了するまでは、あるいは犯罪者がインパクト・パネルへの関与によっていかなる方法でも利益を得ないことが明らかになるまでは、飲酒運転インパクト・パネルに用いられることはない。
9. 被害者は、自分に被害を及ぼした犯罪者がいかなる MADD のプログラムに参加する場合でも、

事前にその告知を受け、その承認を登録する。居所が容易には知られない被害者の住所を探し出すためには、入念な調査が行われる。

10. 被害者インパクト・パネル・プログラムの主な焦点は、犯罪者への影響にあり、MADD のための資金集めではありません。もし料金が法廷によって評定されるなら、それは裁判所の判断として適切に設定されるでしょう。もし料金が MADD によって評定されるのなら、それは犯罪者 1 人あたり 35 ドルを超えない負担とされます。 註：被害者インパクト・パネル・プログラムへの請求が司法倫理への違反として問題になることがあれば、MADD 本部 National Office はこれを通知され、速やかに当該の MADD 州組織と相談して、パネルが州内の司法倫理に触れることなく扱われるようにする。
11. MADD の州組織は、その理事会に「州被害者擁護者」またはコーディネーターを含むことができる。この擁護者が投票権を与えられる場合には、1 年の任期を最大 3 回にわたってつとめても良い。これらの職務には膨大な時間のトレーニングが要求されるため、州は擁護者が他の役員よりも長くつとめられるように、彼を投票によらない立場に置くことを推奨している。
12. MADD はいかなるプログラムまたはサービスにおいても、医学的ハンディキャップや年齢、人種、宗教、性、国籍のために差別することはない。